

## 第 5 回委員会における指摘事項と対応

分類	指摘事項	第 5 回委員会での回答内容	対応方針
水環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質モニタリングデータをダム運用方法の見直しに反映させる。</li> <li>崩壊斜面等の復旧に伴う濁質の変化を長期的に捉えていく。</li> <li>水質調査に関して、崩壊地の復旧状況を整理しておく。</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質の調査を長期的に継続していく。</li> <li>ダム運用の変更については、水質の現況を踏まえて検討を行う。</li> </ul>
動物 (全般)	<ul style="list-style-type: none"> <li>出水前後の変化については、個体数を捉えなければ分からない。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>文献調査は、記載されている情報が信頼できるかどうか、選別を行う必要がある。</li> <li>調査対象範囲で生息しているはずがないマルタ、シシャモ、マハゼといった種が文献調査による確認種に入ってくる。</li> <li>調査対象にはなっていない高山帯の植物がリストに入っている。</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、予測を行う際には、個体数データの取り込みを検討する。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>文献の取り扱いについて、中身を精査して記載方法等を検討する。</li> </ul>
動物 (鳥類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位性の注目種としての猛禽類の調査結果を、重要な種の調査結果に反映させる。</li> <li>クマタカについて、定量的な調査データを整理する。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>林相毎の調査データを整理する。</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>猛禽類調査の結果を、鳥類の重要な種の調査結果に反映させる。</li> <li>上位性の注目種として、生息個体の行動域を整理するとともに、つがい毎に行動圏の内部構造等の解析を行う。</li> <li>生態系の典型性について、類型区分毎のラインセンサス調査等による定量的な調査結果を用いた整理を行う。</li> </ul>
動物 (魚類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム事業の影響予測を、出水前後のどの時点に基準を置いて考えるのが難しい。</li> <li>ダム事業の影響を考えると本委員会の目的だったが、自然の出水の影響を考えなければならなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各専門家の意見を聞きながら、出水後の変化について必要となる項目はモニタリングを継続していく。</li> </ul>	-
植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果でオオサクラソウ、エゾハナシノブが確認されているが、エゾオオサクラソウ、ミヤマハナシノブの 2 種に留意して調査をする。</li> <li>崩壊地の早期復元について、種子吹付けには北海道、できれば日高地方の植物で修復する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の調査では、エゾオオサクラソウ、ミヤマハナシノブに留意する。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施に伴い出現する裸地において植生復元を行う際は、在来種を使用する。</li> </ul>	-

分類	指摘事項	第 5 回委員会での回答内容	対応方針
生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマタカの繁殖率の低下について、出水による影響のほかに隔年繁殖の可能性も考えられる。</li> <li>生態系の回復という観点に分かる資料のとりまとめを行う。</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマタカの繁殖状況について、モニタリング調査を継続する。</li> <li>地域を特徴づける生態系の状況を踏まえたとりまとめを行う。</li> </ul>
環境レポートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標とする環境レポートの提示がないと、何を評価すべきか分からない。</li> <li>環境影響評価と環境レポートは違うものなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境影響評価法の対象外の事業について、法アセスと同様の内容をとりまとめたものを、通称、環境レポートと言っており、内容は基本的には同じものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 6 回委員会以降、具体的な予測手法、予測結果、環境保全措置の検討内容等を審議していただく中で、形作っていく。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>オジロワシとオオワシについて、今後の春、夏の調査実施時に加えられないか。</li> <li>ダム計画の見直しを行う時期に来ているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オジロワシ、オオワシの春夏調査について、委員のご指導を踏まえ検討する。</li> <li>平取ダムの運用については、平成 15 年 8 月の出水を踏まえて見直しを検討中。 ダム計画として、より効果的な洪水調節方法を検討中であり、調査計画、予測あるいは保全対策の検討に反映させていく。</li> </ul>	-